



インタビュー：甲賀峰子（にんぎょう日本編集委員）

加藤知佳

千葉県在住:20代(独身)
アパレルメーカー勤務

野口恵美子

千葉県在住:20代(独身)
アパレルメーカー勤務

河原義久

にんぎょう日本編集長。
編集長として初参加!

番匠由美

にんぎょう日本編集室勤務。
入局したでのフレッシュ?な感性で参加!

司会 全国新作節句人形コンクールの審査、ご苦労さまでした。今日は、作品をご覧になったご感想をお聞かせください。

河原 それから、ご自分やお子さまの初節句から比べていかががだったでしょうか。

佐々木 少しコンパクトになっているように思いましたね。

島田 でも娘の初節句と比べ、そんなに変化しているという感じはしなかったですよ。娘にはクラシックなものを買いましたが、そのころから現代的なデザインのもものが始まっていましたね。

亀野 うちが十五年前が初節句でした。当時もたくさん種類はありましたが、さらにコンパクトになっているように思いますね。また、スポンサーが祖父母でしたから、色も日本的な古風なもので、大きなサイズを選んでしまったんです。今回作品を見ていて、現代的にアレンジされたコンパクトなものにすればよかったですね。

司会 亀野さんは、男のお子さんがいらっしやるんですか。

亀野 やはり、屏風があつて兜がある、もつと大きなものでしたね。狭い家なんですけれど。だからも

う一切、出さなくなってしまうました(笑)。

司会 ああ、出さなくなってしまう。いつごろからですか。

亀野 そうですね、飾っていたのは幼稚園までですね。小学校に入る時に、勉強机や本棚などを用意したので、部屋に置く場所がなくなっていました。もう七、八年は飾ってないです。

司会 お子さんは、飾ってほしいっていいませんか。

亀野 男の子は、そういうことはいわないですよ(笑)。

司会 そうですか、残念ですね。女の子も、飾りたいっていわないですか。

佐々木 いいますよ。お嫁に行き遅れたらどうするのって(笑)。

うちは娘が二人いて、親王飾りを購入しました。やはりスポンサーが祖父母だったので、なんかサイズは大きいですね。だから飾らなくなりましたね。

司会 やはり、お子さんの勉強机とか購入されて、置く場所に困ってですか。

佐々木 いえ、うちの場合は、二年前に犬を飼いはじめ(笑)。室内で飼っているので、出している

と荒らされてしまいますから。

司会 なるほど、可愛いワンちゃんね。ペットの存在も大きいものね。では、ずっとしまわれているんですか。

佐々木 そうです。でも節句用品って、飾った時よりも、しまう時のスペースも厳しいんですよ。ダンボールに入れるから、また一回り大きくなってしまう。

今日、作品を拝見していて、収納というのがある、これなら箱一つで片付けられていいなと思いましたね。

河原 片付け先のスペースの問題も考慮しなくてはならないですね。お人形だけでも一年に一度は出して風通ししていただけると、保存にもいいんですけどね。

大原 うちが迷った末に、木目込人形を買いました。木目込人形はコンパクトでしょう。それに衣裳にホコリが付きにくいように思っただけです。

司会 みなさんは、衣裳着人形と木目込人形を比べると、どちらがお好きなんですか。

全員 衣裳着人形がいいですよ。衣裳着人形のほうが、華やかですよ。

司会 そうなんです。最近の木目込人形の方が人気あるのかと思

「あなたは、どんな節句人形が欲しいですか？」

東京節句人形大見本市で併催された、第29回全国新作節句人形コンクールの一般消費者審査員の方々にお集まりいただき、コンクール作品を見ながら座談会を行った。率直で厳しいご意見も出ましたが、手を加えることなく掲載いたしました。

開催日：9月5日（火）/会場：東京都立産業貿易センター「台東館」7F

参加者

大原ゆみ
東京在住：主婦（40代）
子供：女の子（10歳）

佐々木啓子
東京在住：主婦（40代）
子供：女の子（14歳）
女の子（10歳）

島田妙子
東京在住：主婦（40代）
子供：女の子（14歳）
男の子（10歳）

亀野由美子
東京在住：主婦（40代）
子供：男の子（15歳）

- つていました。
独身の加藤さんと野口さんは、いかがだったでしょうか。
- 加藤** 私のおひなさまは、衣裳着人形の二段飾りで豊んで片付けるタイプのものなんです。
本日、出展された作品を見てみると、お人形や台を崩さないで、そのまま片付けられるものが多かったように思います。私の時代より、収納について考えられているなという印象を受けました。
- 野口** 最近はマンション住まいになっていきますから、コンパクトになっているんだと感じました。
司会 ご自分のお子さんにも、そういう片付けやすいコンパクトなものを購入したいですか。
- 野口** いえ、どうせなら、大きくてゴージャスなものがいいですね（笑）。友達の家にあったのが、七段飾りの豪華なもので憧れていましたからね。
- 番匠** 私も自分がおひなさまを持つていなかったので、大きな七段飾りにとても憧れますね。
司会 **自分が持っていないと憧れますよね。ほかのみなさんは、ご自分のおひなさまを持っていらっしゃったのですか。**
- 全員** 持っていました。
- 司会** **五月人形については、どう思われましたか。**
- 大原** どんどん、小さくなって形も斬新なものになっていきますね。
- 野口** 去年くらいに、雑誌でハイレイに乗った五月人形を見て衝撃を受けました。やっぱり、かっこいいのがいいですね。
- 司会** **会場になかったけれど、こういう人形があったらいいなと思ったものはありますか。**
- 島田** ケースに収納されているものは、そのまま収納できていいなと思いますね。でも、おひなさまは、コンパクトになりすぎちゃって、いろんな意味が失われているようにも思います。お道具などにもいろんな意味がありますよね。私は、七段飾りを持っていたので特に感じます。
- 司会** **節句の意味など、おひなさまを飾る理由をみなさんご存知なんでしょうか。**
- 佐々木** 詳しくは分からないですけど、とにかく嫁に行き遅れないように、ということではないのですか。
- 全員** そうそう（笑）。
- 島田** だから早めに出して、三月の三日過ぎたら、早く片付けろっていいですよ。



司会 そうですね。三月三日を過ぎても、だらしないいつまでも飾っていないようにという戒めのようなものですね。

加藤 そうなんです。今日、審査させていただいて、何のために飾るのか、改めて考えていました。**野口** 単純に女の子が生まれたら、女の子らしく華やかにお祝いするということなのかなと思っていました。

大原 ですよ。女の子が生まれたらおひなさまで、男の子だったら兜でという風習ですから、それ以上、詳しくは考えていませんでした。

全員 みんな詳しくは分かってないですよ。

司会 ああ、そうなんです。おひなさまのように仲睦まじく幸せになってほしい、またその子身代わり、お守りとして機能してほしいという願いが込められているんですよ。

全員 ええー、お守りなんですか(驚)。

司会 そうです。その子の身代わりになります。だから、お姉ちゃんのおものを代用して使うというのはちょっと違うですよ。これは、業界がたくさん買ってほしい

からばかりでいっているわけではないんですよ(笑)。それから、先ほどおっしゃっていたように、お道具自体にもそれぞれ意味があり、さまざまなものに不自由しないようにという願いが込められているんですよ。

河原 ご購入された時、お店で説明されませんでしたか。

亀野 意味的なことはあまり、聞かれましたよ。

佐々木 これとあれはどう違うのか、商品についての説明が多いですよ。

司会 なるほど。では、みなさんは、どんなお店で購入されたのですか。

亀野 デパートに行きました。浅草橋の専門店だと絶対買わなくちゃいけないという雰囲気がつらいですよ。

大原 私は、一通りのお店は見ました。浅草橋周辺は全部見ましたね。ただ、客引きの人とか多くて、あまりいい雰囲気ではなかったですよ。そのなかで、老舗とかではないのですが、ちょっと裏に入ったところで、感じのいいお店があったので、そこで購入しました。**司会** 最終的に購入するのは感じのいいお店ですか。その、感じの

いい、というのは、どんなお店なんでしょう。店内の雰囲気とか気が付いた点があれば教えてください。

全員 それは、ほっとしてくれる店ですよ。

亀野 それで、こちらが質問した時に、きちんと答えてくれる所ですね。

店中ついて回られて「どうですか、どうですか」っていうのは嫌になってすぐ出ちゃいました。

島田 私は、お店というよりも、気に入ったお人形があった所で購入しました。これも出会いですから、インスピレーションで、あ、この子にしよう、というお顔のお人形に巡り合った所でしたね。

佐々木 うちの場合も、何件回っても、忘れられないお顔のお顔が決め手でした。

加藤 人形や衣裳の要素が大きく作用しますけど、お店と商品、そのトータルで決めますよね。

司会 では、品揃えも多いほうがいいんでしょうか。

島田 ある程度は、種類がないと不安になりますね。あとは、同じような商品でも、その違いなど説明して、意見をいってくれる店員さんがいると助かりますよね。た

だ、闇雲にお値段が高いからいいものですと薦められても不信感が募ります。これは安いけど、こういう所がいいとか、その人のお薦めとかいってくれると、そこで買うのかなと思います。

野口 それから、先程おっしゃっていたように、お節句は、日本の伝統文化に触れる機会でもありません。お店で節句の意味やお人形、お道具などについても教えていただけるとうれいすね。

佐々木 結局、見るのは一店だけではないので、人形や値段については、だんだん分かってきます。

島田 コマーシャルとかやっている所は、その分高いような気がしますよ。

大原 でも、あんまりネームバリエーションがなすぎの店も大丈夫かなと心配になりますけど。

加藤 コマーシャルといえば、疑問に思っていたんですけど、大きな会場イベントみたいな形で販売がありますよね。あれは何なんですか。大安売りみたいな感じですが、ああいう所で買ってもいいものなのですか？

私は、節句用品は、もう少し落ち着いた専門店で購入したいと思っています。

Favorite Check! (コンクール作品について)



会場にてコンクール 展覧作品の講評会

司会 みなさんがコンクール展覧作品の審査で、お選びになった作品について、アンケートにも記入していただきましたが、これについて詳しくご説明いただけますか。では、おひなさまのほうで「ひ

いな15人木製五段出し飾」は、島田さんと番匠さんが、お選びになっていますが、これについてご説明ください。

島田 コンパクトなところがいいですよ。これは、生まれたての赤ちゃんには、ちよつと地味なのかなとも思っただんですが、木目調で流行・廃りのない大人になって飽きのこないデザインだと思っておりますよ。将来的に、花嫁道具の一部としてはいいと思いました。

番匠 コンパクトでも五段飾りで、一通り揃ってますし、モダンな雰囲気です。モダンな雰囲気です。

司会 これは、人気がありましたね。では次に、「五人飾」についてご説明ください。

佐々木 これは新しい感じもするし、古風な感じもしますよね。衣裳も好きだったんです。あとは、一度に片付けられるところがいいかなと(笑)。うちは親王飾りだったので、三人官女を足そうかと思っていたところでしたから、やはり最初から揃っているものの方がいいなと思いました。

司会 「芥子親王柳官女会津塗三段飾」も二名が選んでいました。

大原 これは、人形の顔が気に入りました。現代風に目が大きく描

かれて可愛いですよね。それに、全体が紫色で統一されているコーディネートがいいと思いますね。

亀野 本当。色づかいがきれいでしょ。三段飾りでゴージャスなところもいいですね。

司会 ポリリウム感もポイントですね。では、親王飾りの「三五友禅切袂親王平飾セット」の魅力はどこだったのでしょうか。

野口 衣裳の緑色が、渋い感じではなくに無いですよね。赤とかピンクも女の子らしくていいんですが、そればかりなのもどうか。この柔らかい緑が素敵です。

司会 これは、多くの方が気に入ったね。では次に、「かの子親王ケース入」を選んだのは、どの辺がポイントでしたか。

加藤 親王の衣裳の色が、背景の桜模様と合っていて、春らしくていいと思いました。

司会 では五月物は、いかがだったでしょうか。

加藤 私は、「伊達政宗(銀)鎧平飾セット」が、かっこいいなと思いました。後ろの屏風との組み合わせがお洒落ですよ。りりしい感じがしますし。

島田 え、そう。私はリアルな感



紫色のコーディネートが好評。
 「芥子親王柳官女会津塗三段飾」



緑の衣裳が目度抜群。
 「三五友禅切袂親王平飾セット」



人気の「ひいな15人木製五段出し飾」

現代的なアレンジのなかにも

伝統・古典のスタイルが好評!

じが、立ち上がってきそうで怖かったんですけど。

大原 夜、見ると怖いかな。でもセンスがいいんですね。

司会 五月飾りは、怖いといわれると厳しいですよ。『勝虫』は人気でした。

大原 オードックスなんですけど、怖いという感じはなく、可愛いらしさがありますよ。

野口 トンボ柄が可愛いですよ。河原 昆虫柄は、出世の意味があるんですよ。

全員 そんな意味があるんですか。司会 ええ。それで、お節句品の柄にもよく取り入れられているんです。次は「10号ブロンズ伊達兜鯉のぼり」を選んでポイントをお教えいただけますか。

島田 ブロンズが目を引きました。それに、コンパクトサイズですが、鯉のぼりも脇に付いていて、セツトとして全部揃っているところがよかったですよね。鯉のぼりはマンションでは飾りませんからね。でも、ぎゅうぎゅう詰めセツトになっちゃうと嫌ですけどね。

佐々木 そう、全体的な雰囲気がいいですよ。ケースのバックにガラスが付いて後ろも見えますし。司会 後は、「7号飛鳥鎧セツト」ですね。

番匠 家に飾ったら、カッコいいかなと思っただけです。

大原 全体が銀でメタリック過ぎる、ロボットっぽくないですか。番匠 そんなことないですよ。屏風との組み合わせも合っています。すごくいいじゃないですか。

司会 それぞれのセンスで捉え方が違うのね。では、今回いいとお選びになったものを実際に購入しようと思われませんか。

全員 実際、買うものは違います。亀野 今回は、住空間とか値段とか考えずに、単純に理想的にいいなと思っただけを選びました。

島田 それから、自分が持っているものとは違うものを選びました。今から取り換えるなら、コレみたいな感じで。

司会 それでは、実際に買うとしたらどんなものがいいですか。

島田 生まれて、すぐの初節句に飾るとなると、そんなに斬新なものとかとも思いませんね。かといって、完全にお子さま向きのもも短命になってしまっています。子供のものは、おもちゃを含め、色がどぎついで、後になって嫌になるんですよ。

河原 最近では、金欄を使っている無金でできている古典的な有職柄の衣裳が増えているんですけど。

島田 うちの中三の娘に聞いたとしたら、その無金の地味なものもいいと思います。ただ、いざ買う時に祖父母を連れて選んでもらったら、赤や金の入っている華やかなものになりますよ。

大原 自分は好きですけど、娘には、もつと華やかなものを求めちゃいますね。自分のために買うなら、渋目のものもいいんですけど。

島田 はっきりとしたイメージはできないんですけど、子供から大人まで長く飾れるようなものが欲しいですよ。

亀野 私は、今持っているのが大きいので、コンパクトなものもいいですね。収納を考えますと、ケースの一番コンパクトなものが欲しいです。毎年、楽に飾れると思えますから。



ぎゅうぎゅう詰めではないセツトが魅力。「10号ブロンズ伊達兜鯉のぼり」



可愛いと大人気の「勝虫」



お洒落な組み合わせで魅了。「伊達政宗・銀鎧平飾セツト」

Dislike Check! (コンクール作品について)

司会 それでは、これはないよな、絶対買わないというものはありましたか。

まず、おひなさまでは、どんな点が気に入りましたか。具体的に教えてください。

大原 飾り台に写真フレームが付いていたのがありましたが、これも好きずきがありますよね。私は、節句飾りに写真を入れる気にはなりません。

佐々木 多機能で安いですけどね。ほかに、飾り台にレースを使っているものもありましたけど、これもちょっとね。

島田 それは、私も普段椅子として使っていたものの上にレースを敷いて、お人形を置きましたっていうように感じました。

司会 **それが狙いで作られてるんだと思うけど。不評なのね。**

島田 それから、原色のケースがありましたけれど、あれも安っぽい感じがしませんか。お店のディスプレイには、一つくらいあってもいいと思うけど。

野口 現代的な感じを取り入れた

デザイン・色・価格ともに

奇抜すぎるものは不評!?

いのでしょうか。なかに飾る人形にもよりますが、伝統文化を大事にして、昔の古典的なスタイルは維持してほしいですね。

加藤 原色だから、毛せんの色とも合わないんですよ。衣裳の色に合わせているのでしょうか。

佐々木 それから、百五十万円の商品がありました。この値段設定は、どうしてなのかしら。

司会 **あれは、正絹の帯地に本金箔を貼ったり蒔絵を施していたり高価なものです。木目込の仕方もとても丁寧なんですよ。**

佐々木 なるほどね。説明されても、素人には分かりづらいな。

全員 私たちには、ちょっと高いですよ。ものは良いのでしょうか。けど、お値段がいただけません。

島田 それから、ベルベットの生地のおひなさまがありました。あれは斬新で素敵でしたが、ホコリが付くかなと心配になりますね。お洋服でもベルベットのジャケットとかホコリが付きやすいでしょう。白くなっちゃうかと心配になります。

ります。

司会 **では、五月物で、これはないなっていうのはありましたか。**

全員 五月人形は、あんまり変だなどというものはなかったですね。

司会 **え、ないんだ。**

島田 ええ。ただ、形的に倒れちゃさうで、危なそうなお兜がありましたよ。

河原 それは、本物の武将の兜の形を模したものですよ。

野口 本当にあった形の兜なんですか。

加藤 そういうものも、節句品に用いるんですね。知らなかった。

大原 でも、子供には無理ね。

島田 そう、子供は三秒じっとしていないでしょう。

佐々木 せつかく飾っても、周りを走り回るから危ないですよ。

亀野 実際問題として、危険な形状よね。これは買えないですよ。子供に安全なものが基本ですね。

河原 倒れない工夫は、されていると思いますが、安全性もチェックポイントですよ。いろいろなご意見、今日は大変参考になりました。

司会 **そうですね。本日は、お集まりいただき、貴重なご意見ありがとうございました。**

司会 **そうですね。本日は、お集まりいただき、貴重なご意見ありがとうございました。**

★座談会を終えて



司会：甲賀峰子

実際に節句を経験された消費者のみなさまから「お店選び」「購入ポイント」など貴重なご意見とともに「斬新さと伝統の調和」「啓蒙活動」など私たちに課題も残していただきました。さあ明日から感じのいいお店、素敵な人形づくりに励みましょう。



編集：番匠由美